

令和 7年度施策方針書

政 策	05 安全安心で快適に暮らせるまちづくり
施 策	04 環境にやさしい持続可能な社会の推進
主管課	環境課
関連課	下水道課、環境課、公有財産課、農政課、建築住宅課
施策が目指す姿	市民・事業者/豊かな自然を守り、環境にやさしい良好な暮らしをしている

方針

令和 7年度	・カーボンニュートラルを推進するため、市民や事業者の再エネ利用や省エネ機器の設置を促進するとともに、公共施設への再エネ省エネ機器や電動車の導入を積極的に進める。 ・家庭系燃やすごみの減量を更に進めるため、生ごみの水切り及び生ごみ処理機による家庭内処理を促進させるとともに、紙ごみやプラごみの分別の徹底等ごみ減量に向けて意識啓発を実施する。 ・污水处理の普及を図り海や川の水質を保全するため、合併処理浄化槽の設置と公共下水道未接続者に対する接続を奨励する。
--------	---

指標

成果指標名①	自然環境の豊かさに満足している人の割合					単位	%
						達成率区分	増加目標
目標値		令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画		72.2	72.2	72.2	72.2	
	実績	72.1	72.9	75.2			
達成率			100.97%	104.16%			
成果指標名②	温室効果ガス排出削減量（2013年度比）					単位	%
						達成率区分	増加目標
目標値		平成30年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画		10.7	22	24.5	27	
	実績	10.4	19.7	19			
達成率			184.11%	86.36%			
成果指標名③	家庭系燃やすごみの排出量（㍿）					単位	トン
						達成率区分	削減目標
目標値		令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画		23,669	23,430	23,114	22,847	
	実績	24,282	23,548	22,461			
達成率			100.51%	104.31%			

事業費内訳

（単位：千円）

		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
事業費	計画	0	0	3,841,057	4,260,187	3,821,262	3,446,810
	実績	0	0	0			
財源内訳	国庫	計画	0	98,933	101,549	98,518	119,257
	支出金	実績	0	0			
	県	計画	0	31,432	30,771	31,789	25,632
	支出金	実績	0	0			
	地方債	計画	0	866,300	1,160,400	1,080,800	37,300
		実績	0	0			
	その他	計画	0	93,290	52,977	56,636	40,333
		実績	0	0			
	一般財源	計画	0	2,751,102	2,914,490	2,553,519	3,224,288
	実績	0	0	0			
人件費	計画	0	0	184,565	236,613	236,613	236,613
	実績	0	0	0			
トータルコスト	計画	0	0	4,025,622	4,496,800	4,057,875	3,683,423
	実績	0	0	0			

令和 5年度評価兼事中（令和 6年度）評価

施策の 振り返り	・ごみ減量説明会などを開催し、分別収集や生ごみ対策などのごみ減量に対する意識啓発を図ったことにより、家庭系燃やすごみの排出量が前年度比で4.6%減少した。 ・電気式生ごみ処理機購入に対する補助や黒土生ごみ処理容器などをモニターへ配布することにより、生ごみの減量化が図られた。 ・環境教育事業や環境出前講座、まちをきれいにする運動推進協議会の事業などを実施したことにより、市民の環境美化や環境保全、地球温暖化防止に対する意識が向上した。 ・河川清掃などの地域美化活動を支援し、地域による環境美化が進められた。 ・公害等に関する相談に対しては原因者指導などを行い、その解消に努めた。 ・カーボンニュートラルを推進するため、電気自動車や住宅への太陽光発電設備等の導入支援、省エネ家電買換促進事業を実施した。 ・市役所における地球温暖化防止実行計画を推進するため、公共施設太陽光発電設備等導入可能性調査や公共施設一括ＬＥＤ化調査を実施した。また、公用車のＥＶ化を促進するため、電気自動車を２台購入した。 ・ペットの飼い方マナー説明会や飼い主への指導などを行うことにより、ペットの適正飼育に対する意識啓発を図ることができた。 ・焼津市公共下水道経営戦略に基づき、汐入下水処理場の設備更新、管路施設の改築工事等を実施した。また、使用料について焼津市下水道使用料等審議会からの答申を踏まえた改定を行うなど適正な事業運営を行った。 ・汚水処理の普及を図るため、公共下水道未接続世帯への接続勧奨や合併処理浄化槽設置の助成等を行った。
施策の 課題	・家庭系燃やすごみに含まれている生ごみ（重量比40.2%）の排出を減らす必要がある。 ・家庭系燃やすごみに含まれているリサイクルできる紙類（重量比9.9%）プラスチック類（重量比11.2%）の分別の徹底を図る必要がある。 ・2050年のカーボンニュートラル、2030年度46%以上削減（2013年度比）の実現に向け、第３次焼津市環境基本計画等に基づき、再生可能エネルギーの利用促進や省エネを推進していく必要がある。 ・公共施設一括ＬＥＤ化や公用車のＥＶ化などの施策を進めていく必要がある。 ・ペットの適正飼育の啓発や飼い主のいない猫の増加抑制対策を効果的に実施する必要がある。 ・公共下水道については、「焼津市公共下水道事業経営戦略」に基づき、経営の健全化と施設の適正な維持、管理及び更新に努める必要がある。 ・汚水処理人口普及率向上については、合併処理浄化槽設置の助成や公共下水道未接続世帯への接続奨励等により推進していく必要がある。
市民意見	・家庭ごみの減量を進めるには、出前講座などで周知することが有効であるため、今後も継続して実施していくことが必要。 ・生ごみの減量を推進するため、電気式生ごみ処理機などの購入補助を継続した方が良い。 ・公用車のＥＶ化を積極的に実施した方が良い。 ・飼い主のいない猫を増やさないための活動を推進してほしい。